

刊行にあたって

当行は、平成29年12月20日をもって、前身である第六十九国立銀行の創業から140年を迎えることができました。

これまでの長い歴史を築いてこられた諸先輩に敬意を表するとともに、関連会社を含めた全役職員の皆さんに深く感謝いたします。

この節目を迎えるにあたり、本『創業140年 10年のあゆみ』を発刊いたしました。

創業130年からの10年を振り返ってみますと、米国の大手証券会社リーマン・ブラザーズ社の破綻を契機とする世界的な金融危機（リーマン・ショック）や欧州における債務問題、東日本大震災と東京電力・福島第一原子力発電所の事故など、世界的にも大きな出来事が生じました。また、少子高齢化・人口減少が大きな課題として顕在化した10年間でもありました。

そうしたなか、当行は、人口減少への対応として顧客基盤の拡大を徹底して進め、A T M入出金手数料の完全無料化を通じた若年層等の取引推進、利便性向上に向けた平日夜間・休日での営業拠点開設、ネット取引の拡充・強化などに取組んできたほか、最大の経営資源である人材の育成にも注力してきました。

そして、本年4月には、「最適なソリューションを通じて、お客様との共通価値を創出し、地元の発展に力を尽くす銀行」を経営目標とする第19次長期経営計画（計画期間：平成29年4月～平成32年3月）をスタートさせ、次のステップに向けた新たな取組みを開始いたしました。

また、今後の環境変化を見据え、長期的な視野に立ち、第四銀行と経営統合に関する基本合意書を締結いたしました。

両行が長年にわたり培ってきたお客様との信頼関係や地域への深い理解を結集させ、経営資源を強化することで、お客様の企業価値の最大化への支援や利便性向上に取組み、地方創生、地域経済の発展への貢献を永続的に果たして参る所存です。

役職員の皆さん、本誌を通じ、これまでの歩みを振り返りながら、当行の新たな歴史を創造すべく、ともに進んでいこうではありませんか。

諸先輩におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



平成29年12月20日
取締役頭取 佐藤勝弥